



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～



GIFU

岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年5月28日(火)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化祭総務企画課	県民運動係	鈴木 一史	内線 3184 直通 058-272-8127 FAX 058-278-2551

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024 県民運動＞
清流文化地域推し活動『ちーオシ』
「ちーオシスタチュー」制作ワークショップを開催します！
(6月1週目分)

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催機運を盛り上げる県民運動として、「清流文化地域推し活動」(愛称『ちーオシ』)を進めています。

下記のとおり、市町村が選んだ文化の「推し」をモチーフにした「ちーオシスタチュー」の制作ワークショップの詳細が決定しましたので、お知らせします。

記

○開催日時・場所・内容

6月1週目に開催する市のワークショップは次のとおりです。

市町村名	日時	場所	内容※
可児市	6月2日(日) 9時30分～12時30分	可児市文化創造センターala (可児市下恵土3433-139)	(1)、(2)
土岐市	6月8日(土) 13時00分～16時00分	土岐市役所 (土岐市土岐津町土岐口2101)	(2)
本巣市	6月8日(土) 10時00分～15時00分	モトラ岐阜1階 ホワイトプラザ (本巣市三橋1100)	(2)、(3)
美濃市	6月8日(土) 13時00分～16時00分	吉田工房 (美濃市1880)	(1)
関市	6月9日(日) 10時00分～16時00分	関市文化会館市民ロビー (関市桜本町2丁目30-1)	(2)

※ワークショップ【内容】を参考

今後も、毎週火曜日に翌週火曜から翌々週月曜までのワークショップの開催予定をお知らせします。(次回は6月4日)

○制作ワークショップの概要

【期 間】令和6年4月から8月まで。

【場 所】各市町村の公共施設等

【内 容】市町村が選定した文化の「押し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物「ちーオシスタチュー」を制作

- (1) 竹組み（竹で「押し」の形を組みます）
- (2) 和紙の色付け、電球取付け（和紙に色を付けるとともに、竹組みに電球を取り付けます）
- (3) 和紙の貼付け（色付けした和紙を竹組みに貼り付けて、ちーオシスタチューを完成させます）

※市町村によっては、ワークショップの内容・順番・回数が変わります。

【参加者】市町村により参加者の募集方法が異なります。（20名程度）

○参考情報

各市町村でのワークショップの詳細については、下記 URL をご覧ください。

【可児市】：<https://www.city.kani.lg.jp/24513.htm>

【土岐市】：<https://www.city.toki.lg.jp/kanko/koza/1004847/1008691.html>

【本巣市】：<https://www.city.motosu.lg.jp/0000002380.html>

【関 市】：<https://www.city.seki.lg.jp/kanko/0000020634.html>

○上記市で制作するちーオシスタチューのデザインイメージは（テーマとなる推し）は以下のとおりです。下記デザインについては、日比野克彦総合プロデューサーが制作しました。

<p>【可児市】</p> <p>ごちゃまぜで心地よいまち</p> 	<p>【土岐市】</p> <p>遊び心</p> 
<p>【本巣市】※市の独自デザイン</p> <p>もとすプリズム</p> 	<p>【美濃市】</p> <p>和紙の音とぬくもりと</p> 
<p>【関市】※市の独自デザイン</p> <p>あらかねえ火 すんどうる水</p> <p>どえれえええ土</p> 	

◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 基本方針
 - ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
 - ②次世代を見据えた文化芸術の創造
 - ③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
 - ④国民文化の大交流の実現
- 4 キャッチフレーズ ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会期 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日) 42日間

◆清流文化地域推し活動『ちーオシ』について◆

地域の「推し」を住民協働で見つけだし、文化祭の開会式に持ち寄って披露するアートプロジェクトが「清流文化地域推し活動」（ちーオシ）です。

全市町村において「コミュニケーター」が主導しながら「推し」の選定や「ちーオシスタチュー」の制作を進めていきます。

このプロセスを通して開催機運を盛り上げるとともに、地域の活性化を目指しています。

▶コミュニケーター

- ・当事業における地元のリーダー（各市町村から選出）
- 「推し」の選定プロセスに参画し、オブジェ制作を主導

▶地域の「推し」

- ・地域でこれからも大事にしたい、共有したいイチオシの文化（令和5年度中に選定済み）

▶ちーオシスタチュー

- ・市町村が選定した「推し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物
- ・文化祭の総合プロデューサーを務める日比野克彦氏がデザイン画を制作・監修
- ・令和6年4月から8月まで制作ワークショップを実施

清流文化地域推し活動（愛称：『ちーオシ』）について



<https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/koku-shou-bunsai/chi-oshi/>